

県内業界から見る【2017年春の賃金動向】について

石川県中小企業団体中央会

<調査対象>

◎調査期間：平成29年4月下旬～平成29年5月上旬
◎調査対象：当会情報連絡員（業界組合）58団体

（回答 47団体 ・製造業：31団体中25団体
・非製造業：27団体中22団体）

<結果のポイント>

(1) 2017年春の賃金動向について

県内経済は北陸新幹線の開業などを背景に、景気の緩やかな拡大が続いております。2017年の賃金動向については、昨年に引き続き、大手企業を中心に労働力の確保や労働意欲の維持・向上を図るため賃上げの動きが聞かれております。そこで、県内の中小企業者の2017年春の賃金動向を把握するため、業界組合に聞いてみたところ、次の通りであった。

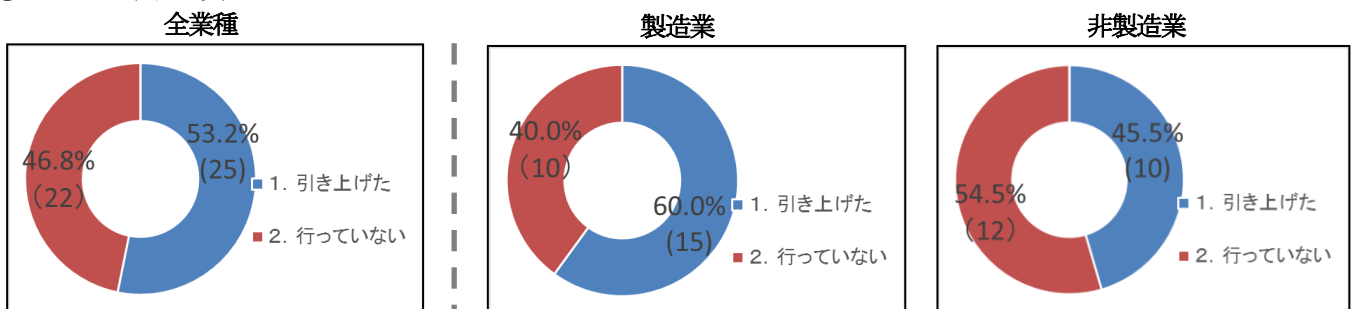
○全業種では、「引き上げた」が53.2%と最も多く、「行っていない」が46.8%で、「引き下げた」との回答は見られなかった。昨年に引き続き、今年度も先行き不透明感が強い中、「引き下げた」との回答は見られず、「引き上げた」との回答は昨年行った調査（45.8%）より増加したことから、「中小企業」の賃上げ努力が昨年に引き続き継続していることが窺える。

(2) 業種別詳細

○製造業においては、「引き上げた」との回答が60.0%と、「行っていない」（40.0%）よりも多かった。「引き上げた」は昨年の調査（60.9%）より微減ながらも、賃上げ傾向が継続している。引き上げた理由を見ると、「人材確保のため」が最も多く、今年度の業績回復見込みや前年度の業績向上に基づくものは少なく、「人手不足」への強い懸念から引き上げを行っていると考えられる。また、引き上げた内容は「定期昇給」が最も多く、ベースアップには繋がらなかったものの、一時金や手当といった短期的な対応に留まらなかったと言える。

○非製造業は製造業と異なり、「行っていない」との回答が54.5%と、「引き上げた」（45.5%）よりも多かった。しかし、昨年の調査（「行っていない」68.0%、「引き上げた」32.0%）に比べると、賃上げ傾向がやや高まった結果であった。引き上げた理由は、製造業と同様に「人材確保のため」との理由が多く、商店街や小売業でアルバイトやパートの賃上げ対応が求められているとの声も聞かれた。引き上げた内容は「定期昇給」が多く、次に「ベースアップ」が続いた。こちらも長期的な対応が多かった。

① 2017年春の賃金動向は？



② 上記質問で「引き上げた」と回答した方への質問

■引き上げた内容（複数回答）

製造業

1. 定期昇給	12
2. ベースアップ	4
3. 一時金	2
4. 残業手当・役職手当等の各種手当	2

非製造業

1. 定期昇給	7
2. ベースアップ	4
3. 一時金	1
4. 残業手当・役職手当等の各種手当	0

■引き上げた理由

製造業

人材確保のため	12
今年度の業績回復を見込むため	2
前年度の業績が良かったため	1
従業員の士気向上	2
周囲の状況を鑑みて	1

非製造業

人材確保のため	6
前年度の業績が良かったため	1
周囲の状況を鑑みて	1